

2014年度 社会運動資料センター事業 実施報告書

1. 事業目的と事業概要

- 《目的》 社会運動に関係する資料収集・研究および企画展・セミナーの開催、定期刊行物の購入とその閲覧を行う。
- 《対象》 一般の方誰でも可とした。
- 《期間》 4月1日から3月31日まで。
- 《財源》 自主財源から拠出した。
- 《資産》 ヒューマンわーくぴあ徳島
- 《人員》 専従職員および臨時職員が従事する。
- 《案内》 チラシを作成して館内に掲示し、ホームページに告知掲載した。
- 《内容》 収集した資料は室内に展示し、閲覧可能とした。NPO法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会などと連携して、社会運動資料センターの運営委員会を設置し、センターの運営や資料の選別については専門家の助言を得て行った。セミナーの講師には専門家を選任した。

2. 運営委員会の設置について

◇第1回設立準備会

日 時 平成26年5月28日(水)10:30～

場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島303号室

参加者 久積育郎(労館)、福本 純(労館)、田辺健二(賀川豊彦記念館 館長)、
富永裕史(徳島人権・平和センター 議長)、辻 博史(徳島県就職支援機構 理事長)、北野静雄(徳島全労協 議長)

◇第2回設立準備会

日 時 平成26年7月18日(金)13:30～

場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島303号室

参加者 久積(労館)、福本(労館)、田辺(賀川豊彦記念館)、富永(平和センター)、
中野(自治研)、森本(連合徳島)、川越(全労済)、林(労福協)、辻(支援機構)、元川(ネットワーク)、新居(徳島新聞社)

◇第3回設立準備会

日 時 平成26年8月21日(木)13:30～

場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島303号室

参加者 久積(労館)、福本(労館)、田辺(賀川豊彦記念館)、富永(平和センター)、
中野(自治研)、森本(連合徳島)、川越(全労済)、林(労福協)、辻(支援機構)、元川(ネットワーク)

◇第1回運営委員会

日 時 2014年12月2日(火)18:00～

場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島 305 号室

参加者 久積（ネットワーク）、田辺（賀川豊彦記念館）、富永（平和センター）、中野（自治研）、森本（連合徳島）、川越（全労済）、林（労福協）、辻（支援機構）、乾（女性研究所）、東條（ストップDV） 事務局…福本（労館）

3. とくしま社会運動資料センター閲覧室について

◇開所日 火曜日から土曜日まで 午前10:00から午後3:00まで

◇閉所日 日曜日および月曜日 国民の祝日、お盆期間、年末年始ほか

◇資料センターの業務

- (1)資料の収集と保全
- (2)定期刊行物の収集・購入と閲覧
- (3)公開講座・セミナーの開催
- (4)企画展の開催
- (5)社会運動に関する調査・研究
- (6)研究会の開催
- (7)社会運動関係団体との連携並びに協力・協働
- (8)その他、目的達成に必要な事項

◇閲覧 書籍、雑誌など約10,000冊の所蔵のうち約1,200冊を閲覧用として書架に並べています。

◇資料を探す 検索コーナーのパソコン端末にて、データベース検索が可能です。ただし図書ID登録済みの書籍・資料に限ります。国立国会図書館サーチで検索したり、また電子書籍の閲覧などにも利用できます。

◇資料の貸出 現在のところ、所有蔵書の一部しか整理・データベース化されておりません。準備が整い次第、貸出業務を行う予定です。

◇資料のコピー 資料の貸出と同様、準備が整い次第、コピー業務を行う予定です。コピー代は無料です。

◇視聴 所蔵DVDの視聴などに利用できます。

4. 公開講座と企画展について

◆資料センター開所式

日 時 2014年10月1日（水）10:00～10:30

場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島1F玄関ホール

参加者数 50人

内 容 一般社団法人徳島県労働福祉会館（以下、労働福祉会館）が運営する、とくしま社会運動資料センター（以下、資料センター）の開所式を、10月1日、ヒューマンわーくぴあ徳島において行いました。

式典には、徳島県並びに会員団体、関係諸団体、そして貴重な資料提供をし

てくださった方など、約50名の方々にお集まり頂きました。

資料センター事業は、昨年の労働福祉会館臨時総会において公益目的事業として決議され、今年4月1日から一般社団法人への移行と同時に、スタートすることとなりました。設立準備会の発足、資料収集、運営規定の作成、寄贈図書の整理、データベース化などの諸準備を経て、今日のオープンに至りました。

開所式当日は、河村和男理事長が所用により不在のため、資料センターのセンター長である久積育郎副理事長が主催者代表として挨拶を行いました[*別記]。また来賓として県労働雇用課の谷口右也課長、鳴門市賀川豊彦記念館の田辺健二館長より祝辞を頂きました。続いて資料センターの概要の説明があり、その後テープカットを行いました。

テープカットには、県労働雇用課の谷口課長、久積副理事長・センター長、鳴門市賀川豊彦記念館の田辺館長、全労済徳島県本部の川越敏良本部長が加わりました。

式典終了後は、参加者の方々を同館2Fの資料センター閲覧室、また同時開催しているパネル展会場(5F大ホール)へ案内しました。

閲覧室では、室内見学、収蔵図書の閲覧の他、DVD(『映像で見る賀川豊彦とその時代』)のミニ上映会を行いました。

◆第1回公開講座

日 時 2014年10月1日(水) 18:00~20:00

場 所 ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホール

参加者数 50名

内 容 テーマ『賀川豊彦と協同組合主義 一貧困を論じて宇宙の目的に及ぶ』

講 師 田辺 健二 氏(鳴門市賀川豊彦記念館 館長)

とくしま社会運動資料センターの第1回公開講座が、10月1日18:00より、ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホールにて行われ、約50名の参加者がありました。主催者挨拶は、とくしま社会運動資料センターのセンター長を務める久積副理事長が行いました[*別記]。司会は運営委員である東條恭子委員が行い、資料センターの概要についての紹介の後、講座に移りました。講師には鳴門市賀川豊彦記念館館長の田辺健二氏を招き、『賀川豊彦と協同組合主義 一貧困を論じて宇宙の目的に及ぶ』と題したテーマで、2時間に亘りご講演頂きました。

講演の中で、日本と世界の現状、それぞれの経済的、政治的な課題を出して頂きました。また日本は自然が資源であること、世界観や人間観が持てる市民教育が必要であることを強調され、さらには宇宙的スケールの賀川豊彦「相互扶助論」をお話し頂きました。



2014.10.01



2014.10.01



2014.10.01

社会運動資料1万点

徳島市で
センター開所

開所式の後、センターを見学する関係者—徳島市昭和町3のヒューマンわーくびあ徳島

徳島県内で起きた労働や平和、人権など社会運動の資料を収集・公開する「とくしま社会運動資料センター」の開所式が1日、徳島市昭和町3のヒューマンわーくびあ徳島で行われた。

センターは、同所2階の一室40平方メートルに設けられ、労働運動や平和活動の書籍、新聞、ビデオなど1万点以上を所蔵。資料目録はデータベース化され、センター内のパソコンで検索できる。開所時間は、月曜と祝日、お盆、年末年始を除く午前10時～午後3時。開所式には県や労働組合、平和団体などから約50人が出席。久積育郎センター長が「社会運動の記録を次の世代につないでいきたい」とあいさつし、テープカットをした。

この日は公開講座があり、鳴門市賀川豊彦記念館の田辺健一館長が講演。5階ホールでは、賀川豊彦の活動の足跡を紹介するパネル展が12日まで開かれている。(新居和人)

2014.10.02 徳島新聞

◆特別企画 パネル展

日 時 2014年10月1日(水)～12日(日) 10:00～15:00

場 所 ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホール

参加者数 120名

内 容 『賀川豊彦と社会運動』パネル展

資料センターの開所を記念して、特別企画として『賀川豊彦と社会運動』と題したパネル展を、ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホールにて開催しました。開催期間は10月1日(水)～12日(日)までの12日間。期間中は、

労働福祉会館の関係団体の他、任意団体やNPO法人の代表の方など、一般来館者を含めて、延べ120名が訪れました。パネルは『賀川豊彦記念館 展示パネルデータ 2002年3月』より代表的な写真を展示しました。また予備のパネル資材を利用して、『2012国際協同組合同年』の周知用パネルも展示しました。

◆第2回公開講座

日 時 2015年2月28日(土) 10:00~12:00

場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島5F大ホール [徳島市昭和町3丁目35-1]

参加者数 65名

内 容 テーマ 連続講座『輝いた阿波の女性たちI』

講 師 乾 晴美 氏 (元参議院議員/AWA女性研究所 代表)

一般社団法人徳島県労働福祉会館が運営する、とくしま社会運動資料センターの公開講座が、2月28日(土)ヒューマンわーくぴあ徳島5F大ホールにて開催されました。第2回目となる今回は元参議院議員でAWA女性研究所代表の乾晴美氏を講師に招き、『輝いた阿波の女性たちI』と題した約2時間の講義に65名の方が参加しました。司会は、前回に引き続いて資料センターの東條運営委員が務めました。

乾講師は講義の冒頭、明治5年に学校制度が確立されてから以後も、四行、三従七去を尊守する封建思想が教え込まれ、それが因襲となって今日まで生き続けていると述べられました。

続けて、獄中から女性の参政権を訴え後に女性差別に関する国際条約の批准に国会議員として貢献した市川房枝さんのことを話され、そして乾講師自らの活躍の場でもあった徳島県内における教育行政・労働行政において女性の地位向上の分岐点となった主な出来事、さらには昭和56年の徳島県女性協議会の設立についてまで、女性運動の萌芽とも言うべき時代について熱弁を振るわれました。

講座では『徳島県女性協議会20年史』をテキストとして使用し、県女性協議会の活動の足跡の他、女性の地位向上に腐心した人物、県行政の取組みにおいて功績のあった団体が紹介されました。

今回の講座は『輝いた阿波の女性たち』と題した連続3回講座の第1講であり、2015年度中に残り2講座を行い、講義内容を取りまとめて書籍化する予定です。

◆特別企画 パネル展

日 時 2015年2月16日(月)~28日(土) 10:00~15:00 入場無料

場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島5F大ホール

参加者数 105名

内容 『輝いた阿波の女性たち』パネル展（『徳島県女性協議会 20年史』より）
公開講座の開講に先立って、2月16日（月）から27日（金）までの間、同テーマのパネル展をヒューマンわーくびあ徳島5F大ホールにて開催しました。パネルには『徳島県女性協議会 20年史』より主要部分をページ印刷したものを使用し、女性運動の発展史、県女性協議会の沿革がわかる内容としました。今回のパネル展では、労働福祉会館の関係団体をはじめ、任意団体やNPO法人の代表の方など、一般来館者を含めて延べ105名の方が訪れました。



2015年(平成27年)2月28日 土曜日 社会 (26)

県内女性活動家 輝く足跡紹介

徳島県内で起きた社会運動の資料を収集・公開している「とくしま社会運動資料センター」（徳島市昭和町3）は、さまざまな分野で活躍した県内女性を紹介する本を出版する。女性の地位向上に尽力した人の足跡に光を当て、今後の女性運動などに役立ててもらふ。28日を皮切りに公開講座を3回開き、内容を定める。

とくしま社会運動資料センター

タイトルは「輝いた阿波」、男女共同参画交流の女性たち。明治以、センターフレアと以降の政治家や文化、教まの開所（2006年）育ちを活動内容なども、県内外の女性運動に掲載する。女性参政権の歴史や出来事も盛り込の獲得（1945年）や、掲載人数は未定だが、県女性協議会の発足（81）掲載人数は未定だが、

政治家・文化人ら集めた本出版へ



センターの委員やスタッフと打ち合わせをする乾さん（左端）＝徳島市昭和町3のわーくびあ徳島

女性で初の国会議員とな、員や市民活動家らも紹介つた紅雲みつ、県内の女する。女性だけの性新聞記者の草分けとし、昨年10月に開所したセンターは、社会運動にどうあるべきかを考え島文理大を創立した村橋、いてる講座を事業の柱サイラを取り上げる字に据えている。12月の運定。現在活動している議、営委員会「県内では多

くの女性が活躍してきたが、あまり知られていない」との意見が出たため、女性運動に詳しい元参院議員の乾晴美さん（80）に講師を打診。講座内容を詰める中で出版の構想が持ち上がった。1回目の講座は28日午前10時から徳島市昭和町3のヒューマンわーくびあ徳島で開き、乾さんが女性運動の歴史を解説する。参加無料。本の執筆は乾さんとセンターのスタッフ2人が講座と並行して行い、出版は16年3月になる見通し。乾さんは「女性だけでなく、誰もが平等な社会はどうかあるべきかを考えたい」と話している。（新居和人）

2015.2.28 徳島新聞

以上

2014年度 地域ふれあいフェスタ事業 実施報告書

1. 事業目的と事業概要

《目的》 『支え合い』『家族の絆』等をテーマとして、木工教室、切り絵、おもちゃ教室、映画会、ブース出店、絵画の募集と表彰などのイベントを行う。

《対象》 一般の方誰でも可とした。

《期間》 8月2日から8月17日まで。

《財源》 自主財源から拠出した。

《資産》 ヒューマンわーくぴあ徳島

《人員》 専従職員および臨時職員が従事した。

《案内》 チラシを作成して館内に掲示し、ホームページに告知掲載した。

《内容》 ” 県内勤労者の拠点 ” である会館で『支え合い』『家族の絆』等をテーマとした無料参加のフェスタを行うことは、「勤労者の福祉の向上を目的とする事業」に関連すると考えられる。運動方針でもある” 地域に開かれた会館づくり ” の一環として、無料参加のフェスタを行うことは、「地域社会の健全な発展を目的とする事業」に関連すると考えられる。

広く一般の方が参加可能とし、無料とした。地域へのチラシ配布、新聞紙面への広告、ホームページに掲載等、広く周知を行った。

それぞれの分野のNPO・ボランティア団体と連携し、木工、絵、おもちゃ教室等を出店した。

2. 各イベントについて

◆2014地域ふれあいフェスタ in 健康とふれあいの森

・みんなで歌おう！歌声ひろば

日 時 8月2日（土）11：00～

場 所 健康とふれあいの森広場 [三好市三野町芝生 1342-3]

参加者数 60名

※雨天のためヒューマンわーくぴあ徳島5Fホールで代替開催

内 容 童謡、歌謡曲、懐メロ、ポップスなどの合唱。



・世界のクワガタ・カブトムシ展

日 時 8月2日（土）～17日（日）9：30～17：30

場 所 八角堂（健康とふれあいの森 展望台）〔三好市三野町芝生 1342-3〕
 参加者数 915 名
 内 容 1500 点の標本がズラリ登場。抽選会あり。

クワガタなど標本1000点 三好市三野町のレクリエーション施設「健康とふれあいの森」で開かれている。17日まで。世界最大のカフトムシとして有名なヘラクレスオオカブトや、スマトラ島などに生息するコーカサスオオカブト、背中が七色に輝くニジロクワガタなどの標本約千点が並ぶ。徳島西部ライフサポーター

恐る恐るカフトムシに触る子ども 三好市三野町の健康とふれあいの森

トセンター所長の鳥養見さん(64) 同市池田町マチーが約20年にわたって収集した。約20匹の生きたクワガタやカフトムシに触れることができるコーナーもあり、子どもたちは恐る恐る手を伸ばして歓声を上げていた。

神戸市から家族で訪れていた小島忠能君(16)は「憧れのコーカサスオオカブトに触れて感激。ものすごくカッコいい」と興奮していた。(佐藤優香)

徳島新聞 2014.8.14

徳島新聞 2014.8.14

・夏休み宿題かたづけ隊

日 時 8月9日(土) 10:30~13:00
 場 所 健康とふれあいの森広場〔三好市三野町芝生 1342-3〕
 ※雨天中止
 内 容 親子で作ろう「木工作品」／宿題ワーク「教えて先生！」／写生・アート「上手に描くにはどうすれば？」

◆2014地域ふれあいフェスタ in わーくぴあ

日 時 8月17日(日) 13:00~17:00
 場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島
 参加者数 120 名
 内 容 親子陶芸教室(だいやま陶芸村)／親子木工教室(フレッセ、壮生)／こども映画会『アナと雪の女王』日本語吹替版(徳島映画センター)／絵手紙教室(日本絵手紙協会公認)／親子の無料撮影会(出張スタジオ・サークル)／飲料・軽食・小物販売コーナー(Creer、リサイクルショップ a・ya)



暦の上ではもう秋の、赤とんぼが舞い始めた 8 月 17 日（日）、ヒューマンわーくびあ徳島（労働福祉会館別館）で「2014 地域ふれあいフェスタ in わーくびあ」が開催されました。この催しは、当会館の公益目的事業として初めて実施されたものです。テーマは「地域の支え合い」「家族の絆」などで、労働福祉事業団体、NPO・ボランティア団体などの協力のもとで様々な子ども向けイベントが行われ、たくさんの親子連れで賑わいました。

メイン会場では、徳島映画センターによる「こども映画会」が行われました。映画は、今、巷で大人気のウォルトディズニー・アニメ「アナと雪の女王」で 100 名以上の親子連れが来場しました。照明が落とされると、子どもたちからは大きな喝采が上がり、それぞれ楽しそうにスクリーンに見入っていました。

また、親子工作教室では、夏休みの自由課題にと、親子で熱心に木箱やラックを作る姿が見られました。他には親子陶芸教室、絵手紙教室やプロカメラマンによる親子の無料撮影会などが各階で行われ、4 時間という短い時間でしたが、会場はいつまでも子どもたちの歓声に包まれていました。

以上

2014年度 テナント施設貸与事業 報告書

1. 事業報告

(1) 会館運営について

- ・一般社団法人への移行及び第2期中期経営計画のスタートである本年度は、一般社団法人としての法人運営を基本として、経営の健全化と安定化に努めました。
- ・会館設備の変圧器、コンデンサー等についてPCB含有量の分析検査を行いました。検査結果に応じた処理を進めています。
- ・消防訓練、防災セミナーを実施しました。

(2) 管理業務委託について

- ・会館運営を効率的に行うため管理業務をNPO法人「壮生」に委託し、シニアのワークシェアリングによる働く場作りによる会館運営を行いました。
- ・わーくびあ運営に関するさまざまな課題に対しては、随時運営事務局と協議を行い、日常的な事務局段階での話し合いで対応しました。ただし年間計画等については未実施のものがあ、今後は3ヶ月毎の定期協議の中で、年間計画の進捗状況を点検することとしました。

(3) 法人運営について

- ・本年度は 1,910,000 円の会費収入がありました。
- ・昨年 3 月 18 日、徳島県知事より移行認可書の交付があり、2014 年 4 月 1 日付で一般社団法人への移行登記を行いました。そして同年 7 月 10 日付にて公益目的財産額の確定手続きを行い、2014 年 3 月 31 日を算定日とする当法人の公益目的財産額は、
公益目的財産額:124, 916, 879 円
となりました。また公益目的支出計画については、
公益目的支出計画の完了予定日:2064 年(平成 76 年)3 月 31 日
公益目的支出計画の実施期間:50 年
となりました。
- ・一般事業主行動計画を策定し、また徳島県より「はぐくみ支援企業」の認証を受けました。

(4) 財務状況について

- ・本年度の総資産は 231,646,461 円となりました。
- ・収入は、55,867,641 円、うち事業収入 52,324,290 円、事業外収入 3,543,351 円となりました。
- ・支出は、8,639,782 円の減価償却、法人税等充当金 1,388,000 円を含めて 48,232,648 円となりました。
- ・借入金は、徳島県より 10,500,000 円、徳島市より 10,500,000 円がありますが、今年度、徳島県に 10,500,000 円、徳島市に 3,500,000 円をそれぞれ返済しました。そして徳島県より新たに 7,000,000 円の借入を行いました。また四国労働金庫から 44,169,888 円を借り入れしていますが、

2,913,397 円の返済を行いました。その結果、総借入残高は 55,256,491 円となりました。

・会員数は、76 会員であります。

・消費税率の引き上げに伴い、2014 年 4 月 1 日以降に発生する居室および駐車場の賃料、会議室・大ホール、マイク、プロジェクター等の使用料については消費税率8%にて処理しました。

(5) 労働者福祉運動の支援について

・労福協を中心として実施された様々な労働者福祉事業に協力するとともに、積極的に参加しました。

・シニアライフを支援するNPO法人「壮生」の活動として、健康セミナー、パソコン講座等を行いました。

・障害者の就労支援として、駐車場管理を引き続きNPO法人徳島県腎臓病協議会へ再委託しております。

・障害者の自立支援を行うNPO法人「Creer」の活動として、引き続きお弁当の館内販売を行っております。

・就職に困難な障害のある人のための就労継続支援事業などを行っているNPO法人「いのちのさと」が運営する『産直市きのべ』による別館玄関フロアにおける野菜・果物・加工食品等の販売を開始しました。

(6) 新規事業(公益目的事業)について

・社会運動資料センター事業

公益目的支出計画に基づく事業として社会運動資料センター事業を開始しました。賀川豊彦をはじめとする社会運動に関する資料、とりわけ団塊の世代の書籍・資料の収集を図り、同時に企画展、公開講座等を開催しました。

具体的には、NPO法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会などと連携して社会運動資料センターの運営委員会を設置し、センターの運営や資料の選別については専門家の助言を得て行いました。収集した資料は室内に展示し、一般の方誰でも閲覧可能としました。公開講座およびパネル展は、チラシを作成して館内に掲示、またホームページや新聞に告知掲載し、セミナーの講師には専門家を招いて講演していただきました。

《備品の受贈について報告》

◇パネル展示用ボード(クロスパネル) 一式 …全労済徳島県本部より

◇ハンドル式移動書架 一式 …四国労働金庫より

・地域ふれあいフェスタ事業

公益目的支出計画に基づく事業として地域ふれあいフェスタ事業を行いました。『支え合い』『家族の絆』等をテーマとして、親子陶芸教室、親子木工教室、こども映画会、絵手紙教室、親子の無料撮影会、飲料・軽食・小物販売コーナーなどのイベントを行いました。広く一般の方が参加

可能とし、参加無料としました。広報については、地域へのチラシ配布、新聞紙面への広告、ホームページに掲載等、広く周知を行いました。

3. 事業記録

日 時	内 容	備 考
2014.4	1 一般社団法人の移行登記日	
5	26 NPO 法人壮生 第6回通常総会	Hわーくびあ302号室
	29 会計監査	Hわーくびあ303号室
	〃 労福協第2回理事会	わーくびあ徳島502号室
6	2 第6回理事会	わーくびあ徳島502号室
5	28 社会運動資料センター準備会(第1回)	※ 別館303号室
6	2 地域ふれあいフェスタ企画会議(第1回)	※ 〃
	16 地域ふれあいフェスタ企画会議(第2回)	※ 〃
	18 第1回(通算44回)通常総会	本館502号室
	29 公益目的財産額の確定に係る必要書類の提出	県評価検査課
	30 地域ふれあいフェスタ企画会議(第3回)	※ 別館303号室
7	8 労福協第2回理事会	本館502号室
	10 公益目的財産額の確定(通知)	県評価検査課
	18 社会運動資料センター準備会(第2回)	※ 別館303号室
	24 消防設備検査	本館、別館
	非常階段・廊下等の放置物の撤去	全館
	28 消防訓練	本館502号室、屋上
8	1 県民と働く者のとくしまフェスタ2014第1回実行委員会	本館502号室
	2 世界のクワガタ・カブトムシ展(~17日)	※ 三好市三野町
	〃 うたごえ広場inふれあいの森	※ 〃
	9 夏休み宿題かたづけ隊	※ 〃
	17 '2014地域ふれあいフェスタ in わーくびあ	※ 別館
	19 高齢者の生活支援に関する講座	本館502号室
	21 社会運動資料センター準備会(第3回)	※ 別館303号室
	30 2014年度賀川豊彦学習講座	美馬市脇町
9	4 高齢者が災害(特に南海トラフ地震)に負けない「生き抜く力の養成」のセミナー	本館502号室
	11 第44回全国会館協定期総会	広島市 ※不参加
	24 第1回理事会	本館502号室
	〃 労福協第3回理事会	〃
9	24 第1回理事会	本館502号室
	〃 労福協第3回理事会	〃
10	1 とくしま社会運動資料センター開所式	※ 別館玄関ホール
	〃 特別企画『賀川豊彦と社会運動』パネル展(~12日)	※ 5F大ホール
	〃 第1回公開講座 『賀川豊彦と協同組合主義-貧困を論じて宇宙の目的に及ぶ-』	※ 5F大ホール
	3 一般事業主行動計画策定届の提出	徳島労働局

	6	徳島県はぐくみ支援企業認証書の交付		県労働雇用課
11	1	県民と働く者のとくしまフェスタ 2014 開会式典		5F大ホール
	5	昭和地区避難訓練(徳島県)		県庁
	24	庫倫旗第一中学代表団歓迎と交流の夕べ		グランドパレス徳島
	26	労福協第4回理事会		502号室
12	2	とくしま社会運動資料センター 第1回運営委員会 ※		305号室
	3	自治体要請(徳島県)		県庁
	5	第22回労働者福祉メーデー		徳島グランヴィリオH
	11	第2回徳島ブロック推進委員会(四国労働金庫)		ホテル千秋閣
	15	自治体要請(徳島市)		市役所
	16	第12回わーくびあ徳島の運営に関する定期協議		303号室
12	17	ろうきん創立60周年記念講演会		ろうきんホール
2015.1	7	労福協第5回理事会		阿波観光ホテル
	//	新年交歓会		阿波観光ホテル
	21	労福協第3回(通算41回)会員総会		502号室
	25	第3回あわ〜ず徳島会員交流懇親会		徳島グランヴィリオH
2	16	特別企画『輝いた阿波の女性たち』パネル展(~28日)※		5F大ホール
	19	第45回西部労福協定期総会		高松市
	21	別館1F倉庫の改築工事 ~5日		別館1F
	//	はぐくみ支援実践セミナー		ふれあい健康館
	24	労福協第6回理事会		302号室
	//	知事とのしゃべり場(意見交換会)		フレアとくしま
	28	第2回公開講座『輝いた阿波の女性たち I』 ※		5F大ホール
3	12	労福協第4回(通算42回)会員総会		502号室
	//	労福協第7回理事会		502号室
	15	2015 Syuntoふれあいファミリーデー		あすたむらんど徳島
	20	移動書架設置工事		別館1階倉庫
	23	第2回理事会		502号室
4	1	NPO法人フードバンクとくしま入居		別館1階
	7	NPO法人いのちのさと『産直市きのべ』訪問販売開始		別館玄関フロア
5	1	第86回メーデー		藍場浜公園
	12	労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議		労金会議室
	18	会計監査		別館305号室
	26	第3回理事会		502号室
	//	NPO法人壮生第7回通常総会		別館302号室

※は、公益目的事業